ACCU-CHEK® Aviva

Roche

自己検査用グルコース測定器
アキュチェックアビバ

取扱説明書

ACCU-CHEK®

はじめに

この度は、アキュチェックアビバをお求めいただきまして、誠に有り難うございます。

◎ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
◎この取扱説明書は、必要なとき、すぐに取り出せる場所に保管してください。
◎付属の添付文書、及び組み合わせて使用する試験紙、穿刺(せんし)器具、ランセットの添付文書も併せてお読みの上、ご使用ください。
◎測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状やほかの検査結果と合わせて医師が総合的に判断してください。
測定結果により医師の指示なく経口剤又はインスリン投与量を変えないでください。
◎測定結果に疑問を感じたときは、必ず主治医の先生にご相談ください。

ご不明な点がございましたら、右記「ロシュにハロー お客様センター」までお問い合わせください。

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー
0120-642-860
24時間365日

目次

はじめに 1
目次 2
安全上の警告・注意 4
全般的な注意 6
自己検査用グルコース測定器（測定器）について 7
自己検査用グルコースキット（試験紙）について 9
相互作用（妨害物質） 11
採血用穿刺器具（穿刺器具）・単回使用自動ランセット（ランセット）について 12
製品概要と各部・付属品の名称・構造 16
測定に必要なものの確認 17
各部の名称 18
基本的な操作方法（一般的な使用方法とその注意事項） 22
STEP1 測定の前に 23
STEP2 コードキーの確認 24
STEP3 穿刺器具の準備 25
STEP4 血糖値を測る 26
STEP5 試験紙の廃棄 29
STEP6 ランセットの廃棄 30
記録した測定結果を見る 31

目次

ファストクリックスの操作方法 34
ソフトクリックスプラス（黒）の操作方法 43

各種設定機能について 52
日付・時刻の確認・設定 54
確認音の設定 58
アラームの設定 59
低血糖警告（ ⓘ ）の設定 63
＊（食後/イベント）マーク 66

保守・点検 68
保守（お手入れ） 69
点検（精度チェック） 71

電池の交換 75

保管に関する事項 77

画面メッセージと対処方法 79
仕様 84
チェックリスト 85
保証書 巻末

安全上の警告・注意

ここでは、本測定器を安全にご使用いただくために、守っていただきたい事項をまとめています。必ずよくお読みの上、ご使用ください。

【警告】

1. 実際の血糖値より高い値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないこと。〔その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。〕
   ・ガラクトース負荷試験を実施中の患者（P.11 相互作用の項参照）
   ・プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者（P.11 相互作用の項参照）
   本器は、原則として患者自身が自宅等で血糖を測定する場合に使用すること。
2. 本品及び専用測定器での測定結果により、医師の指示なくインスリンなどの投与量または経口剤を変更しないこと。
3. 糖尿病の治療管理は必ず医師の指導のもとで行うこと。

安全上の警告・注意

本文中の表示説明

次の表示は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に危害や障害が生じる恐れがあることをお伝えしています。

「警告」	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
「注意」	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される」内容を示しています。

次の表示とともに説明している内容は、ご使用にあたって必ずお守りください。

「禁止」	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
「強制」	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

全般的な注意		
		測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状やほかの検査結果と併せて医師が総合的に判断してください。測定結果により医師の指示なく経口剤又はインスリン投与量を変えないでください。
		測定結果に疑問を感じたときは必ず、主治医の先生にご相談ください。
		本測定器は血液を使用し測定を行うため、血液由来の感染に注意し測定器が汚れたら必ずクリーニングを行ってください。 血液を通して感染する恐れがあります。
		血液や血液がついた器具、ティッシュペーパーなどは他の人が触れないようにしてください。 血液を通して感染する恐れがあります。
		お子様の手の届かない場所に保管してください。 電池、試験紙、ランセットなどは誤飲の恐れがあります。万一飲み込んだときは、すぐに医師へご相談ください。
		指先から採血する場合は、穿刺(せんし)前に、必ず流水でよく手を洗ってください。
		果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。〔アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告があります。〕
		以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定してください。 脱水状態／ショック状態／末梢循環障害

安全上の警告・注意

全般的な注意		
⚠	✕	**製品に破損などの異常が認められる場合には使用しないでください。**
	✕	**測定器、穿刺器具、ランセット、試験紙の分解・修理・改造をしないでください。** 故障やケガの原因になります。
	✕	**測定中は、試験紙を触ったり、動かしたり、ずらしたりしないでください。** 正しい測定結果が得られません。

自己検査用グルコース測定器（測定器）について	
✕	**強い電磁波を発生する恐れのある器具や機器（携帯電話など）の近くで使用しないでください。** 故障や誤った測定結果が出る原因となります。
☞	**故障したときは状態を詳しく明示して、ロシュにハローお客様センターまでお問い合わせください。**
☞	**しばらく使用しなかった測定器を使用する場合は、使用前に必ず測定器が正常、かつ安全に作動するかご確認ください。** P.71 の精度チェックをご参照ください。

自己検査用グルコース測定器（測定器）について	
☞	**測定器はほこりや水が入らないようにしてください。** 故障の原因になります。一度水が入ってしまうと乾いても使用できません。測定器がほこりなどで汚れたときはクリーニングを行ってください。
☞	**高温多湿を避け、使用環境条件に従ってご使用ください。** 故障や誤った測定結果が出る恐れがあります。
☞	**測定範囲を上回る測定結果の場合「HI」と表示されますが、おおよそ 2,000mg/dL を上回った場合には「E-3」と表示される可能性があります。** この表示が示された場合には、機器・試験紙の問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判別できませんので注意してください。極端に高い血糖測定値が疑われ、「E-3」が表示されたときは、すみやかに医師の指示に従ってください。
☞	**測定範囲を下回る測定結果の場合「LO」と表示されます。この表示が示された場合には、すみやかに医師の指示に従ってください。**
☞	**本品や試験紙を保管していた場所と使用する場所の温度が大きく違う場合は、使用する場所にしばらく置いて温度の差をなくしてからご使用ください。**
⊗	**高いところから落としたり、ぶつけたりしないでください。** 故障の原因になります。

安全上の警告・注意

自己検査用グルコース測定器（測定器）について	
⊗	**測定器の試験紙差込口や、コードキー差込口に関係のないものを差し込まないでください。また、常に清潔に保たれているようにしてください。** 故障や誤った測定結果が出る原因となります。
☞	**電池が消耗してくると、画面に電池マークが表示されます。** できるだけ早く電池を交換してください。

自己検査用グルコースキット（試験紙）について	
⊗	**試験紙は体外診断用医薬品です。人体に投与することは絶対に避けてください。**
☞	**試験紙はヒト全血用です。**
☞	**血液を使用し測定を行うため、血液由来の感染に注意して測定を行ってください。**
☞	**添付文書に記載された使用目的及び用法・用量に従ってご使用ください。** **記載された使用目的及び用法・用量以外での使用については、測定結果の信頼性を保証しかねます。また、内容は製品改良などの理由により変更する場合がありますので、新しい試験紙を開封したときは必ず記載事項をご確認ください。**
☞	**必ず、専用の試験紙をご使用ください。** 正しい結果が得られません。また、故障の原因となります。

自己検査用グルコースキット（試験紙）について	
⊗	**使用期限の過ぎた試験紙は使用しないでください。** 正しい結果が得られません。
☞	**試験紙は必要な枚数のみ容器から取り出し、取り出した試験紙はすぐに測定器にセットしてください。** 取り出した状態で長時間放置しておくと、試験紙が変質する恐れがあります。
☞	**試験紙を取り出した後は、容器のフタをすぐ閉めてください。** 試験紙は湿気に弱いため、変質する恐れがあります。
⊗	**試験紙の容器などは他の目的に使用しないでください。**
☞	**試験紙の血液吸引部は反応が起きる重要な部分なので、水、揮発性物質、その他汚染の可能性があるものとの接触は避けてください。**
⊗	**ぬれた手で試験紙を持たないでください。** 誤った測定結果が出る原因となります。
☞	**一度使用した試験紙は再使用できません。**
☞	**使用済みの試験紙は、血液由来の感染に注意して適切な廃棄処理をしてください。** 血液を通して感染する恐れがあります。

安全上の警告・注意

相互作用（妨害物質）

・ガラクトース負荷試験を実施中は使用しないでください。ガラクトースが血液中に 15mg/dL を超えて含まれる場合は測定値が高めに出ることがあります。
・ヘマトクリット値 10 ～ 65%までは測定に影響ありません。
・ビリルビン（非抱合型）は 40mg/dL まで測定に影響ありません。
・アスコルビン酸が 3mg/dL を超えて含まれている場合は測定値が高めに出るか、「Err」または「E-3」表示が出て測定が出来ないことがあります。
・トリグリセライドは 1,800mg/dL まで測定に影響ありません。
・プラリドキシムヨウ化メチル投与中の方は、実際の血糖値より高値を示すことがあります。
・測定する検体にヨウ化物イオンを遊離するような物質が存在している場合には、偽高値となる可能性があります。
・マルトースは 360mg/dL まで測定に影響がないことを確認しています。また、これを超える高濃度についても測定への影響は、「正しい治療方針の決定に影響を与えない範囲」か、あるいは、「治療方針が変更される可能性はあるが、治療結果への影響はないか極めて狭い範囲」に収まっています。
・キシロースは測定に影響がないことを確認しています。
・イコデキストリンは通常臨床での使用では測定に影響ありません。

採血用穿刺器具（穿刺器具）・単回使用自動ランセット（ランセット）について	
⊗	**ランセットは使い捨てですので再使用しないでください。** 血液を通して感染する恐れがあります。
☞	**採血部位に病原微生物が付着し感染の危険性があるため、採血部位を必ず清潔にしてください。** **また、採血後はばんそうこうなどで止血と保護をおこなってください。**
☞	**穿刺器具及びランセットは組み合わせてご使用ください。**
☞	**必ず専用のランセットをご使用ください。** 他社の針や市販の針では、穿刺器具に適切に取り付けられません。また、ケガの原因となります。
⊗	**採血以外の目的で使用しないでください。** 故障やケガの原因になります。
⊗	**使用期限を過ぎたランセットは使用しないでください。** 使用期限はランセットの外箱に表示してあります。
⊗	**穿刺器具は、人に向けて使用しないでください。** 思わぬケガをすることがあり大変危険ですので、絶対にしないでください。
⊗	**ランセットを穿刺器具に取り付けたまま放置しないでください。**

安全上の警告・注意

採血用穿刺器具（穿刺器具）・単回使用自動ランセット（ランセット）について	
☞	穿刺するときは、必ず新しいランセットをセットしてください。
☞	穿刺器具が汚れたときは、クリーニングを行ってください。
☞	使用済みのランセットは、医療廃棄物として適切な廃棄処理をしてください。 廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。
☞	耳朶等、組織が薄い部位への穿刺を行なう場合には、穿刺部位の裏側を直接指で支えないでください。 組織を貫通した針で指を穿刺し、血液を介した感染のおそれがあります。貫通のおそれがある場合には、他の組織の厚い部位での穿刺について検討してください。

採血用穿刺器具：アキュチェック　セミディスポ（穿刺器具）・ 単回使用自動ランセット：アキュチェック　セミディスポ　ランセット（ランセット）について	
⊗	ランセットを穿刺器具に取り付けるときは、穿刺ボタンを押さないでください。 誤って穿刺されます。
⊗	穿刺器具に取り付ける途中で取り外したランセットは使用しないでください。
⊗	針が出たままの状態になっていたり、新しい穿刺針を取り付けても穿刺できない場合は、使用しないでください。
⊗	取り外しボタンを押したまま穿刺針を取り付けないでください。 針が出たままの状態になる可能性があります。

採血用穿刺器具：ファストクリックス・ソフトクリックスプラス（黒）（穿刺器具）・単回使用自動ランセット：ファストクリックス ランセット・ソフトクリックスランセット（ランセット）について	
	穿刺器具は使用者専用品です。複数の人で使わないでください。 血液を通して感染する恐れがあります。
	必ず、本体キャップをセットしてから穿刺ボタンを押してください。 思わぬケガをすることがあり大変危険です。

採血用穿刺器具：ファストクリックス（穿刺器具）・単回使用自動ランセット：ファストクリックス ランセット（ランセット）について	
	２本目以降のランセットをご使用の際は、ご使用前に必ず手で針交換レバーを回して新しい針に換えてください。針は自動的には換わりません。
	針交換レバーは必要時に１回だけ回してください。 何回も回すとその分ランセットドラムが穿刺器具内で回転してしまいます。ランセットの再使用防止のため元には戻せませんのでご注意ください。
	使用途中または使用済みのランセットドラムを固い場所に落とすなど強い衝撃を与えると、中の穿刺針が飛び出す恐れがあります。安全のため、ランセットドラムの穴の面は触らないでください。
	使用途中のランセットドラムは、穿刺器具から取り出さないでください。 再使用防止のため、一度穿刺器具にセットされたランセットドラムは再セットできません。

メモ

製品概要と各部・付属品の名称・構造

ここでは、この取扱説明書で使用される各部の名称など、初めに知っていただきたいことをご説明します。

測定に必要なものの確認 ―――― P.17

各部の名称
測定器／穿刺器具・ランセット／試験紙／画面表示 ―――― P.18

ご不明な点がございましたら、右記「ロシュにハロー お客様センター」までお問い合わせください。

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー
0120-642-860
24時間365日

測定に必要なものの確認

まず、測定に必要なものが揃っているかご確認ください。

※製品及び製品の包装デザインは予告なく変更することがあります。

- 専用携帯ケース　1個
- 取扱説明書（保証書付）　1冊
- 簡易取扱説明書　1冊
- 添付文書
  （測定器、穿刺器具 *、ランセット *、試験紙 * 用）各 1 枚
- 画面メッセージ集　1冊
- リチウム電池 CR2032（予備用）**　1個

*　測定器のみお求めになった場合は、穿刺器具、ランセット、試験紙は含まれていません。別途お求めください。

**　お求めいただいた測定器には、あらかじめ試用のための電池（DL2032）がセットされています。予備用の電池は試用のための電池がなくなり次第ご使用ください。

ワンポイント

試験紙とランセットは、使い切る前に新しいものをご用意ください。

各部の名称

アキュチェックアビバ（測定器）

電源ボタン

測定器の電源を入れたり消したりするときや、各種の機能を設定するときに使用します。

赤外線インターフェース

測定器からコンピュータにデータを転送するときに使用します。

画面

測定結果、メッセージ、記録された測定結果を表示します。

コードキー差込口※

左／右矢印ボタン

設定の変更、過去の測定結果の表示などに使用します。

電池

試験紙差込口

試験紙をここに差し込みます。

電池ボックスカバー

※ 黒いコードキーがあらかじめ差し込まれています。
黒いコードキーが見当たらない場合はロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。

アキュチェック　セミディスポ（穿刺器具）・
アキュチェック　セミディスポ　ランセット（ランセット）

・ファストクリックスをお使いの場合は、34 ページをご参照ください。
・ソフトクリックスプラス (黒) をお使いの場合は、43 ページをご参照ください。
・その他の穿刺器具をお使いの場合は該当の添付文書等をご参照ください。

※製品のデザインは予告なく変更することがあります。

各部の名称

アキュチェックアビバストリップＦ（試験紙）（別売）

※製品及び製品の包装デザインは予告なく変更することがあります。

画面表示

電源が切れている状態で電源ボタンを押し続けると、画面に図のマークが表示されます。
表示されない場合は、ロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。

画面図（全点灯時）

表 示	名 称	参照	表 示	名 称	参照
	電池マーク	P.75		試験紙マークと血液マーク	P.26
memory	メモリーマーク	P.31	code exp	使用期限注意マーク	P.82
	温度計マーク	P.83		砂時計マーク	P.29
	「!」マーク（低血糖警告表示）	P.63	mg/dL	単位マーク	P.29
	確認音マーク	P.58	*	食後／イベントマーク	P.66
C	コントロールマーク	P.73	day ave	平均値マーク	P.31
	ベルマーク（アラーム表示）	P.60			

基本的な操作方法（一般的な使用方法とその注意事項）

ここでは、測定器の基本的な使い方をご説明します。

STEP1 測定の前に ―― P.23

STEP2 コードキーの確認 ―― P.24

STEP3 穿刺（せんし）器具の準備 ―― P.25

STEP4 血糖値を測る ―― P.26

STEP5 試験紙の廃棄 ―― P.29

STEP6 ランセットの廃棄 ―― P.30

記録した測定結果を見る ―― P.31

ファストクリックスの操作方法 ―― P.34

ソフトクリックスプラス（黒）の操作方法 ―― P.43

ご不明な点がございましたら、右記「ロシュにハロー お客様センター」までお問い合わせください。

フリーダイヤル ロシュに ハロー

0120-642-860

24時間365日

STEP1 測定の前に

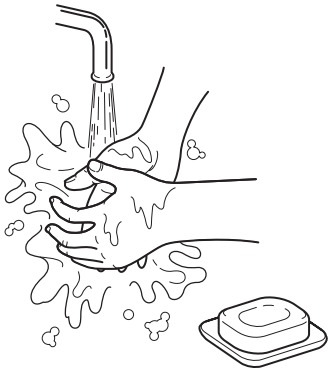
測定に必要なものを用意する

以下のものは、必要に応じてご自身でご用意ください。

ティッシュ・ペーパー／アルコール綿／自己管理ノート／ボールペンなどの筆記用具／廃棄ボックス（主治医にご相談ください）

* その他の穿刺器具／ランセットをお使いの場合は、該当のものをご用意ください。

手を洗う



石鹸などを使って穿刺部位（指先など）をよく洗い、じゅうぶんに乾かしてください。

STEP2 コードキーの確認

測定を実施するには、測定器にコードキーがセットされている必要があります。

❶

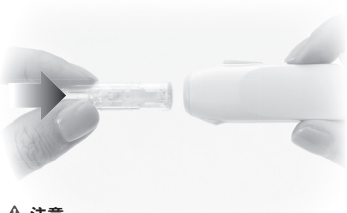
コードキー差込口にコードキーが差し込まれていることを確認します。

⚠ コードキーが見当たらない場合はロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。

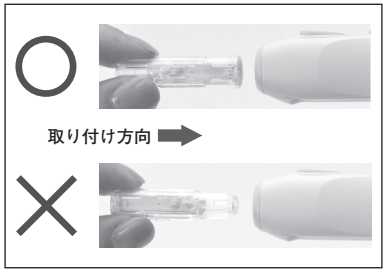
STEP3 穿刺器具の準備

（ファストクリックスの準備は 34 ～ 42 ページをご参照ください。
ソフトクリックスプラス（黒）の準備は 43 ～ 50 ページをご参照ください。）

ランセットの取り付け



⚠ 注意
ランセットは確実にセットしてください。



1

深度調節ダイヤルを回して、穿刺深度を調節します。深さの目安は下記のとおりです。

2

ランセットを穿刺器具本体に取り付けます。このとき奥までしっかりと差し込んでください。

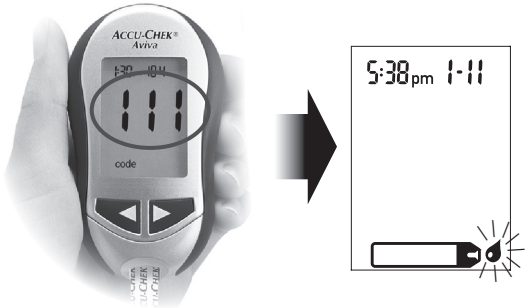
穿刺設定目安

STEP4 血糖値を測る

試験紙のセット・測定器の準備

1

試験紙容器から試験紙を１枚取り出し、測定器の試験紙差込口に奥までしっかり差し込んでください。自動的に電源が入ります。



2

測定器画面上に「111」の数字が表示されていることを確認します。続いて画面に試験紙マークと血液マークが表示されます。これで測定器の準備が整いました。

⚠ 試験紙は湿気に弱いため、変質する恐れがあります。試験紙を取り出した後、容器のフタはすぐに閉めてください。
⚠ 取り出した試験紙はすぐにご使用ください。
⚠ 試験紙を測定器に差し込んだ後、２分放置しておくと自動的に電源が切れます。電源ボタンを押すと再び電源が入ります。
⚠ 使用期限が過ぎた試験紙は使用しないでください。

STEP4 血糖値を測る

採血する

1

穿刺器具の先を指先にあて、穿刺ボタンを押します。

⚠ 穿刺の前は必ず穿刺部位を清潔にしてください。石鹸などを使って手をよく洗い、じゅうぶんに乾かしてください。

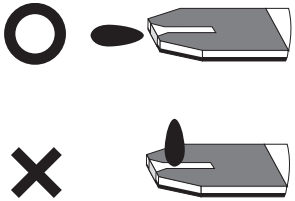
2

穿刺した部分の周りを軽く押し、血液を出します。

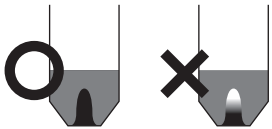
測定する

⚠ 測定前に、測定器の画面に試験紙マークと血液マークが表示されていることをご確認ください。
⚠ 試験紙がセットされているのに電源が切れている場合は、電源ボタンを押してください。電源が入ります。

⚠ 血液のつけ方
血液は横からつけてください。



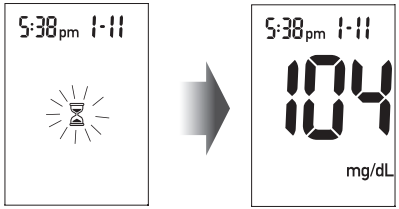
⚠ 血液吸引部がすべて赤くなるまで
血液を吸引させてください。



1

試験紙の血液吸引部（黄色の部分）に血液を軽くつけます。
試験紙に血液が必要量吸引されたら、測定を開始し、画面上に砂時計マークが点滅します。

STEP4 血糖値を測る



2

約５秒で測定が終了し、測定結果と測定時間が表示されます。

測定結果は自己管理ノートなどに記録しましょう。

⚠「HI」、「LO」、その他のメッセージが表示された場合は、P.79 からの「画面メッセージと対処方法」をご参照ください。

STEP5 試験紙の廃棄

試験紙を廃棄する

測定器から試験紙を抜き取ります。約５秒後に電源が切れます。

⚠ 使用済みの試験紙は、血液由来の感染に注意して適切な廃棄処理をしてください。廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。

ワンポイント

◎測定結果と測定日時は、自動的に測定器に記録されます。あとから測定結果を確認したいときは、P.31 をご参照ください。

◎穿刺（せんし）した部分は、脱脂綿などで押さえ、止血してください。

STEP6 ランセットの廃棄

ランセットを廃棄する

廃棄用の容器などに向けて取り外しボタンを押します。

未使用ランセットと使用済みランセット

使用前

使用後

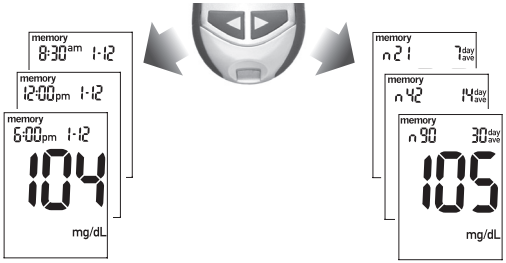
使用後はインナーガイド(薄紫色の部分)が前方に移動します。

⚠ 使用済みのランセットは、医療廃棄物として適切な廃棄処理をしてください。廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。

記録した測定結果を見る

本測定器は、測定結果を測定日時と一緒に最大 500 回まで記録できます。また、過去 7 日間、14 日間、30 日間の平均値も表示できます。自己管理ノートに記入するのを忘れてしまってもあとから呼び出すことができます。

メモリーモードを呼び出す



1

電源が切れている状態で、◀ ボタン又は▶ ボタンを押します。画面に一番新しい測定結果が表示されます。

⚠ メモリーモードを意味する、「memory」が表示されます。

2

過去の測定結果を見る

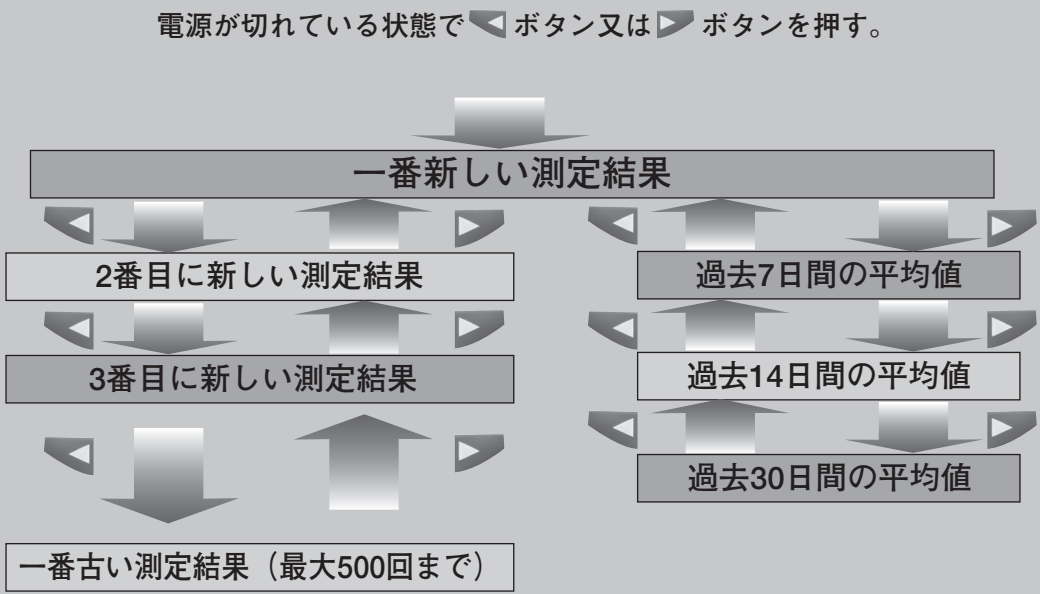
続けて◀ ボタンを押すと、順番に古い測定結果が表示されます。

過去の平均値を見る

続けて▶ ボタンを押すと、過去 7 日間、14 日間、30 日間の平均値が順番に表示されます。電源ボタンを押すと電源が切れます。

ワンポイント

◎過去の測定結果及び平均値の画面構成は以下のようになっています。



記録した測定結果を見る

ワンポイント

◎測定結果は最大 500 回まで記録できます。
　500 回以上測定されたときは、一番古い測定結果が消されて、新しい測定結果が記録されます。
◎電池を抜き取っても、記録は消えません。
◎◀又は▶矢印ボタンを押し続けると画面表示が早送りされます。
◎コントロール液で精度チェックをした結果や、「HI」「LO」の結果は平均値に含まれません。

ファストクリックスの操作方法

穿刺器具としてファストクリックスをお使いの場合はこちらをご参照ください。

各部の名称

ファストクリックス（穿刺器具）・ファストクリックス ランセット（ランセット）

⚠ 本品は、個人使用に限ります。複数の人で使用しないでください。
⚠ ２本目以降のランセットをご使用の際は、ご使用前に必ず手で針交換レバーを回して新しい針に換えてください。針は自動的には換わりません。

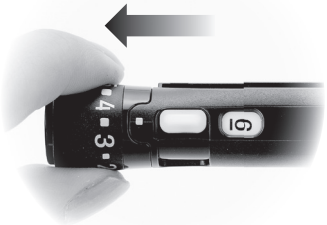
※製品のデザインは予告なく変更することがあります。

操作方法 STEP1 、 STEP2 については、23、24 ページをご参照ください。

STEP3 穿刺器具の準備

⚠ 本品は、個人使用に限ります。複数の人で使用しないでください。
⚠ ２本目以降のランセットをご使用の際は、ご使用前に必ず手で針交換レバーを回して新しい針に換えてください。針は自動的には換わりません。

ランセットの取り付け



⚠ 注意
ランセットドラムは確実にセットしてください。

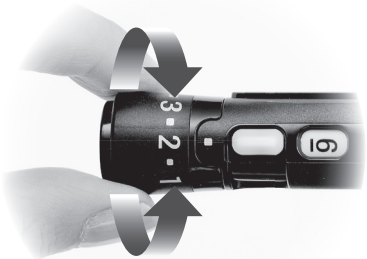
❶ ファストクリックスの本体キャップを引っ張り外します。

❷ ランセットドラムをカチッというまでしっかりと差し込みます。

❸ 図のように本体キャップをはめます。

STEP3 穿刺器具の準備

ランセットの取り付け



4

深さ調節ダイヤルを回して、穿刺の深さを調節します。深さの目安は下記のとおりです。
これで穿刺の準備が整いました。

この数値はあくまで目安です。実際に穿刺して、ご自分にあった数字に設定してください。

⚠ ランセットドラムの中にはランセットが６本入っています。全部使い切るまで中のランセットドラムは外さないでください。

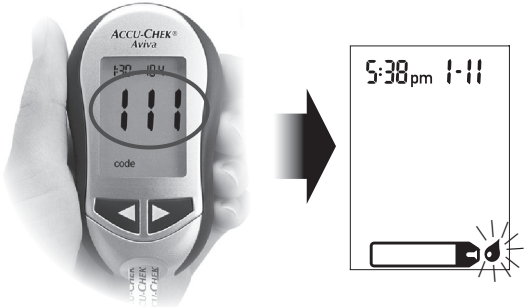
⚠ 添付文書の注意文をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

STEP4 血糖値を測る

試験紙のセット・測定器の準備

1

試験紙容器から試験紙を１枚取り出し、測定器の試験紙差込口に奥までしっかり差し込んでください。自動的に電源が入ります。



2

測定器画面上に「111」の数字が表示されていることを確認します。続いて画面に試験紙マークと血液マークが表示されます。これで測定器の準備が整いました。

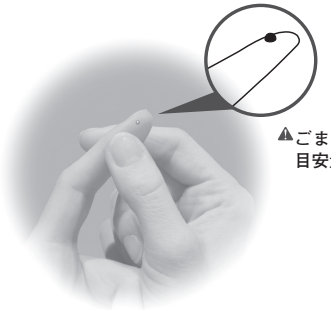
⚠ 試験紙は湿気に弱いため、変質する恐れがあります。試験紙を取り出した後、容器のフタはすぐに閉めてください。
⚠ 取り出した試験紙はすぐにご使用ください。
⚠ 試験紙を測定器に差し込んだ後、２分放置しておくと自動的に電源が切れます。電源ボタンを押すと再び電源が入ります。
⚠ 使用期限が過ぎた試験紙は使用しないでください。

採血する

1

穿刺器具の先を指先にあて、穿刺ボタンを押します。

⚠ 穿刺の前は必ず穿刺部位を清潔にしてください。石鹸などを使って手をよく洗い、じゅうぶんに乾かしてください。



⚠ごまつぶ大の血球が目安量です。

2

穿刺した部分の周りを軽く押し、血液を出します。

ワンポイント

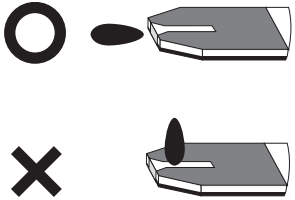
◎指先以外からの採血で測定する場合は、必ず医師にご相談の上行ってください。
◎医療機関の方へ：上記の場合には専用のキャップが必要になります。ロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。

STEP4 血糖値を測る

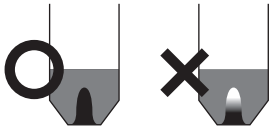
測定する

⚠ 測定前に、測定器の画面に試験紙マークと血液マークが表示されていることをご確認ください。
⚠ 試験紙がセットされているのに電源が切れている場合は、電源ボタンを押してください。電源が入ります。

⚠ 血液のつけ方
血液は横からつけてください。



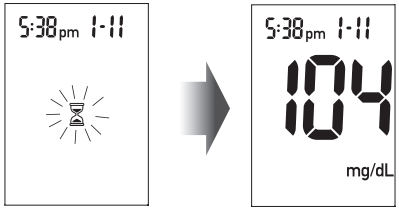
⚠ 血液吸引部がすべて赤くなるまで
血液を吸引させてください。



1

試験紙の血液吸引部（黄色の部分）に血液を軽くつけます。
試験紙に血液が必要量吸引されたら、測定を開始し、画面上に砂時計マークが点滅します。

STEP4 血糖値を測る



2

約５秒で測定が終了し、測定結果と測定時間が表示されます。

測定結果は自己管理ノートなどに記録しましょう。

⚠「HI」、「LO」、その他のメッセージが表示された場合は、P.79 からの「画面メッセージと対処方法」をご参照ください。

STEP5 試験紙の廃棄

試験紙を廃棄する

測定器から試験紙を抜き取ります。約５秒後に電源が切れます。

⚠ 使用済みの試験紙は、血液由来の感染に注意して適切な廃棄処理をしてください。廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。

ワンポイント

◎測定結果と測定日時は、自動的に測定器に記録されます。あとから測定結果を確認したいときは、P.31 をご参照ください。

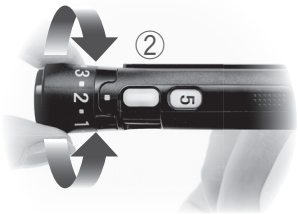
◎穿刺（せんし）した部分は、脱脂綿などで押さえ、止血してください。

STEP6 2本目以降のランセットの取り扱い/ランセットの廃棄

2本目以降のランセットの取り扱い

⚠ 2本目以降のランセットをご使用の際は、ご使用前に必ず手で針交換レバーを回して新しい針に換えてください。針は自動的には換わりません。

❶ 針交換レバーを前後に往復させて新しいランセットをセットします。



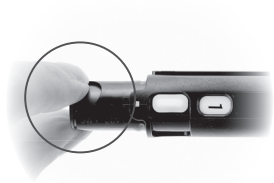
❷ 深さを調節します。

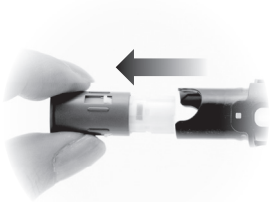
表示窓の数字で残数を確認できます。

表示窓に見える数字は、未使用のランセットの本数を示しています。

表示が「1」になったら新しいランセットドラムと交換してください。

ランセットを廃棄する





表示窓の数字が「1」になったら、ランセットドラム内の６本のランセットを全て使い切ったことになります。
穿刺器具本体キャップを外し、ランセットドラムを引っ張り外します。

未使用ランセットと使用済みランセット

使用後のランセットドラムは赤い線がでています。
ランセットドラムは穿刺器具から抜いたら再度セットできません。

⚠ 使用済みのランセットは、医療廃棄物として適切な廃棄処理をしてください。廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。

ソフトクリックスプラス（黒）の操作方法

穿刺器具としてソフトクリックプラス（黒） をお使いの場合はこちらをご参照ください。

各部の名称

ソフトクリックスプラス（黒）（穿刺器具）・ソフトクリックス　ランセット（ランセット）

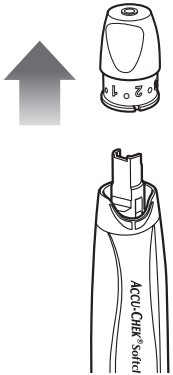
⚠ 本品は、個人使用に限ります。複数の人で使用しないでください。

※ 製品のデザインは予告なく変更することがあります。

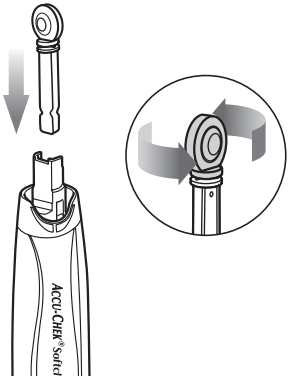
操作方法 STEP1 、 STEP2 については、23、24 ページをご参照ください。

STEP3 穿刺器具の準備

ランセットの取り付け

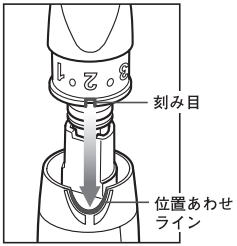


1 ソフトクリックスプラス（黒）の本体キャップを引っ張り外します。



2 ランセットをホルダーに「カチッ」というまで差し込みます。

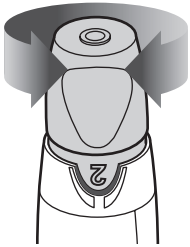
ランセットの保護キャップを数回ねじり、取り外します。



3 本体キャップの刻み目と位置あわせラインが一直線になるように合わせ、「カチッ」というまで押し込んでください。

⚠ ランセットは使い捨てのため再使用はしないでください。

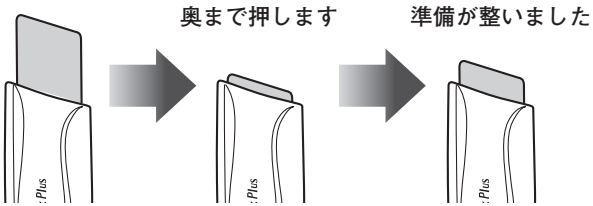
穿刺器具のセット



1

深さ調節ダイヤルを回して、穿刺の深さを調節します。深さの目安は下記のとおりです。

この数値はあくまで目安です。実際に穿刺して、ご自分にあった数字に設定してください。



2

プランジャーを奥までしっかりと押します。プランジャーが下がった状態で固定されます。これで穿刺器具の準備が整いました。

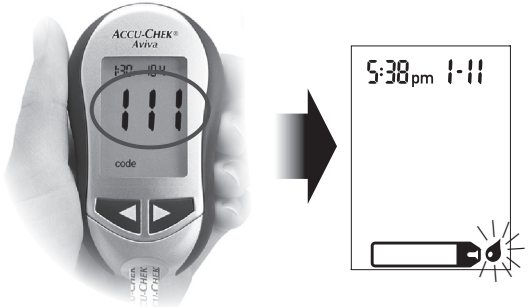
⚠ 添付文書の注意文をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

STEP4 血糖値を測る

試験紙のセット・測定器の準備

1

試験紙容器から試験紙を１枚取り出し、測定器の試験紙差込口に奥までしっかり差し込んでください。自動的に電源が入ります。

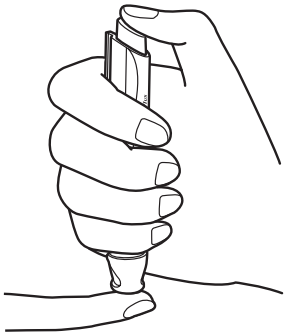


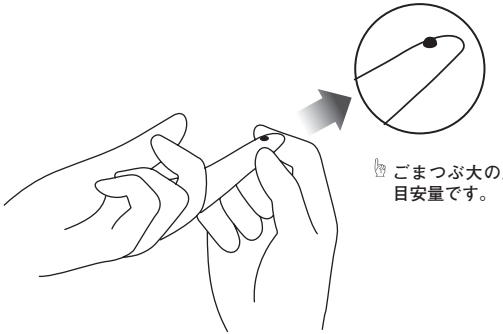
2

測定器画面上に「111」の数字が表示されていることを確認します。続いて画面に試験紙マークと血液マークが表示されます。これで測定器の準備が整いました。

⚠ 試験紙は湿気に弱いため、変質する恐れがあります。試験紙を取り出した後、容器のフタはすぐに閉めてください。
⚠ 取り出した試験紙はすぐにご使用ください。
⚠ 試験紙を測定器に差し込んだ後、２分放置しておくと自動的に電源が切れます。電源ボタンを押すと再び電源が入ります。
⚠ 使用期限が過ぎた試験紙は使用しないでください。

採血する





❶ 穿刺(せんし)する

ソフトクリックスプラス（黒）の先（穿刺(せんし)孔）を指先にあて、プランジャーを押します。

⚠ 穿刺(せんし)の前は必ず穿刺(せんし)部位を清潔にしてください。石鹸などを使って手をよく洗い、じゅうぶんに乾かしてください。

❷

穿刺(せんし)した部分の周りを軽く押し、血液を出します。

ワンポイント

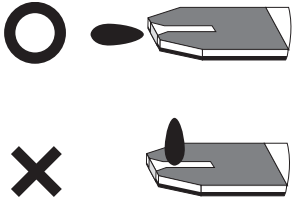
◎指先以外からの採血で測定する場合は、必ず医師にご相談の上行ってください。
◎医療機関の方へ：上記の場合には専用のキャップが必要になります。ロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。

STEP4 血糖値を測る

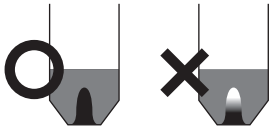
測定する

⚠ 測定前に、測定器の画面に試験紙マークと血液マークが表示されていることをご確認ください。
⚠ 試験紙がセットされているのに電源が切れている場合は、電源ボタンを押してください。電源が入ります。

⚠ 血液のつけ方
血液は横からつけてください。



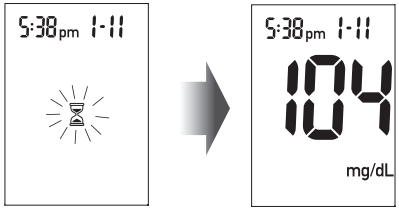
⚠ 血液吸引部がすべて赤くなるまで
血液を吸引させてください。



1

試験紙の血液吸引部（黄色の部分）に血液を軽くつけます。
試験紙に血液が必要量吸引されたら、測定を開始し、画面上に砂時計マークが点滅します。

STEP4 血糖値を測る



2

約５秒で測定が終了し、測定結果と測定時間が表示されます。

測定結果は自己管理ノートなどに記録しましょう。

⚠「HI」、「LO」、その他のメッセージが表示された場合は、P.79 からの「画面メッセージと対処方法」をご参照ください。

STEP5 試験紙の廃棄

試験紙を廃棄する

測定器から試験紙を抜き取ります。約５秒後に電源が切れます。

⚠使用済みの試験紙は、血液由来の感染に注意して適切な廃棄処理をしてください。廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。

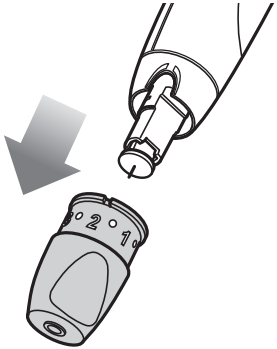
ワンポイント

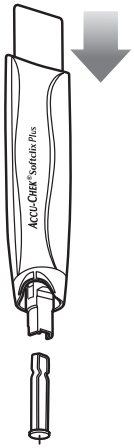
◎測定結果と測定日時は、自動的に測定器に記録されます。あとから測定結果を確認したいときは、P.31 をご参照ください。

◎穿刺（せんし）した部分は、脱脂綿などで押さえ、止血してください。

STEP6 ランセットの廃棄

ランセットを廃棄する





1

ソフトクリックスプラス（黒）の本体キャップを引っ張り外します。

2

プランジャーを押し、ランセットを外します。

⚠使用後のランセットは針刺し及び感染防止に留意して、針が貫通せず、蓋がしっかりしまる容器に廃棄してください。
⚠針先で指などを刺さないようにご注意ください。
⚠プランジャーを押してもランセットが外れない場合は、2、3回プランジャーを押してください。
それでも外れない場合は、プランジャーを押した状態で先端のとがったもの（ボールペンの先など）でランセットを引っ掛けて外してください。

メモ

各種設定機能について

ここでは、より便利に測定器をご使用いただくための機能をご説明します。

日付・時刻の確認・設定 ―― P.54
確認音の設定 ―― P.58

アラームの設定
アラームの設定／アラーム音 ―― P.59

低血糖警告（①）の設定
低血糖レベルの設定／低血糖警告例 ―― P.63

＊（食後／イベント）マーク
＊マークの設定 ―― P.66

ご不明な点がございましたら、右記「ロシュにハロー お客様センター」までお問い合わせください。

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー
0120-642-860
24時間365日

各種設定機能について

本測定器には、各種の設定機能（日付・時刻／確認音／アラーム／低血糖警告）があります。
各設定画面の内容及び構成は以下のとおりです。設定方法詳細は、各ページをご確認ください。

日付・時刻の確認・設定 → **確認音の設定** → **アラームの設定** → **低血糖警告（ ）の設定**

日付・時刻の確認・設定	確認音の設定	アラームの設定	低血糖警告（ ）の設定
P.54	P.58	P.59	P.63
日付、時刻（12時間表示）の確認・設定ができます。 ※お求めいただいたときには、日付・時刻の設定はされています。 確認と必要に応じて設定・調整を行ってください。	確認音の設定ができます。 確認音を設定しておくと、測定のときなどに音が鳴るので、適切に測定が行えているか確認ができます。 ※お求めいただいたときには「On」（鳴る）に設定されています。	アラーム（お知らせ）音を設定できます。 あらかじめ測定する時間を設定しておくと、時間になるとピピッというアラーム音が鳴ります。 ※お求めいただいたときには「OFF」（鳴らない）に設定されています。	低血糖の可能性を知らせます。 あらかじめ低血糖レベルを設定しておくと、その設定値より低い測定結果が出た場合、画面にマークが表示され、音が鳴ります。 ※お求めいただいたときには「OFF」（警告を表示しない）に設定されています。

日付・時刻の確認・設定

本測定器をお求めになられたときは、測定器の日付・時刻の設定はされています。念のため、以下の手順で確認を行ってください。また、必要に応じて設定・調整を行ってください。

ここでは、12 時間表示で 2014 年 1 月 11 日午後 1 時 30 分に設定されている例でご説明します。

設定モードを呼び出す

❶

電源が切れていることを確認し、電源ボタンを押します。日付・時刻と試験紙マークが画面に表示されます。続けて電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。

❷

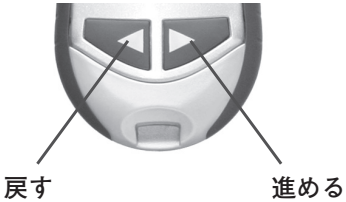
日付・時刻と「set-up」が点滅表示されます。

電池を交換した後は ❷ の画面が直接表示されます。

日付・時刻の確認・設定

※ 日付・時刻の調整を実施せずに設定画面を終了する場合は、電源ボタンを４秒以上押し続けてください。通常の測定用の画面に戻ります。

時間の確認・設定



3

現在の時間になっているか確認します。必要に応じて、◀▶ボタンで時間を合わせます。時間を進める場合は▶ボタン、時間を戻すときは◀ボタンを押してください。

4

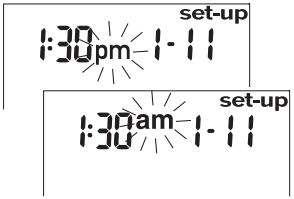
電源ボタンを押して時間を確定します。続いて「分」が点滅します。現在の分になっているか確認します。

分の確認・設定

5

必要に応じて、◀▶ボタンで分を調節し、電源ボタンで確定します。

am/pm の確認・設定



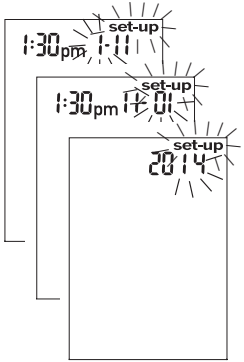
6

「pm」（又は「am」）が点滅します。合っているか確認します。

必要に応じて、◀▶ボタンで「am」「pm」を選択して、電源ボタンで確定します。

日付・時刻の確認・設定

日付の確認・設定



7

月、日、年も同様に確認・設定します。続いて確認音の設定を行います。（次ページへ）

8

ここで終了する場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。画面に試験紙マークが表示されます。この状態でもう一度電源ボタンを押すと、電源が切れます。

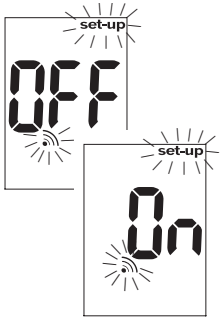
⚠ 電池を交換した際は、年の設定が終了すると、直接試験紙マークの画面へ移行します。

確認音の設定

本測定器では、確認音を鳴らす「On」／消す「OFF」の選択ができます。お求めいただいたときには「On」の状態でセットされています。

ワンポイント

◎確認音は以下のようなときに鳴ります。
- 試験紙がセットされたとき
- 測定を開始するとき
- 測定が完了したとき
- ボタンを押したとき
- 測定中にエラーが発生したとき（エラーが発生したときは確認音を「OFF」にしていても確認音は鳴ります。）



日付・時刻の設定の❶～❼まで行い、「On」と確認音点滅画面を表示させてください。

◀▶ ボタンで「On」か「OFF」を選択し、電源ボタンで確定させます。

続いてアラームのセットを行う場合

P.59 へ。

ここで終了する場合

電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。試験紙マークが表示されます。この状態でもう一度電源ボタンを押すと、電源が切れます。

アラームの設定

本測定器には、あらかじめ測定時刻を設定しておくと、アラーム音で時刻をお知らせする機能があります。アラームは最大４つまで設定できます。

ワンポイント

◎お求めいただいたときには、測定器のアラーム機能は「OFF（アラームを使用しない）」に設定されています。アラーム機能を使用する場合は「On」に変更してください。

◎あらかじめ４つのアラーム時刻が設定されています。必要に応じて変更できます。

＜アラーム設定時刻＞

１番目　Ａ－１	8:00am
２番目　Ａ－２	12:00pm
３番目　Ａ－３	6:00pm
４番目　Ａ－４	10:00pm

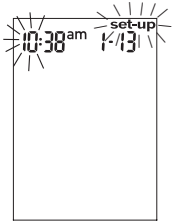
⚠ アラームの設定時刻の 30 分前以内に測定を終えている場合は、アラームは鳴りません。

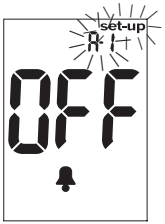
⚠ アラームの設定時刻に測定器の電源が入っている場合は、アラームは鳴りません。

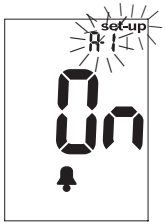
アラームの設定

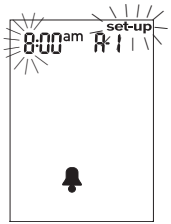
「確認音の設定」から続けて設定を行っている方は、❸からご覧ください。

❶ 電源が切れていることを確認し、電源ボタンを押します。日付・時刻と試験紙マークが画面に表示されます。









❷

続けて電源ボタンを４秒以上押し続けます。時間と「set-up」が点滅表示されます。

❸

画面にベルマーク「🔔」、「OFF」、「A－1」、点滅した「set-up」が表示されるまで電源ボタンを複数回押します。◀ボタン又は▶ボタンを押して、「On」を選択します。

❹

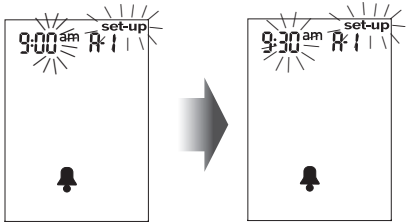
続けて電源ボタンを押します。画面に１番目（A－1）に設定してある時刻が表示され、時間部分が点滅します。（お求めいただいた状態では８ :00am になっています。）

◀ボタン又は▶ボタンを押して時間を設定します。

※例では９時に設定しています。

アラームの設定

アラームの設定

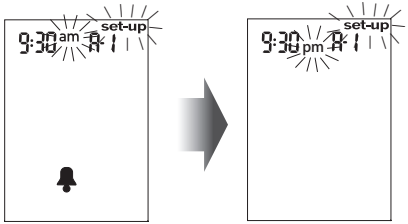


5

続けて電源ボタンを押します。時刻の「分」が点滅します。◀▶矢印ボタンで分を設定します。「分」は「00」「15」「30」「45」から選択します。

※例では「30」分を選択しています。

⚠「00」「15」「30」「45」以外の分は設定できません。



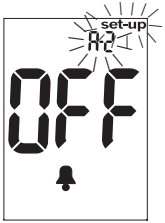
6

続けて電源ボタンを押します。「am」（又は「pm」）が点滅します。◀▶矢印ボタンで「am」又は「pm」を選択します。電源ボタンを押して確定します。これで1番目のアラームが設定されました。

※例では「pm」を選択しています。

ワンポイント

数字を戻す ◀ ▶ 数字を進める



7

続けて画面には「A－2」と「OFF」が表示されます。

2番目のアラーム設定を行う場合

❸に戻って、1番目と同様に時間設定をしてください。

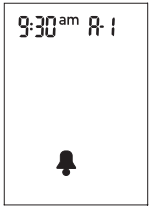
ここで終了する場合

電源ボタンを4秒以上押し続け、試験紙マークが表示されたらもう一度電源ボタンを押して電源を切ってください。

続けて「低血糖警告」の設定を行う場合

電源ボタンを押して P.63 へ。

アラーム音



設定した時刻になると、アラーム音（ピピピッ、…7回）が鳴ります。このとき画面上には、設定した時刻、設定番号、ベルマークが表示されます。

アラーム音は2分間隔で最大3回鳴ります。アラーム音を止める場合は、試験紙を差し込むか、どれかボタンを押してください。

低血糖警告（①）の設定

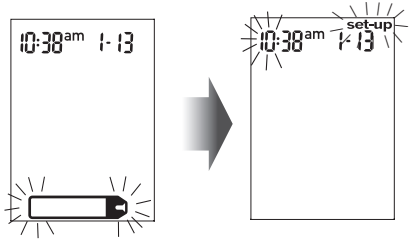
低血糖レベルを設定しておくと、それ以下の測定値になったとき、音と「①」マークで低血糖の可能性があることをお知らせする機能があります。

ワンポイント

◎「①」マークは低血糖を意味します。
◎お求めいただいたときには、測定器の低血糖警告表示機能は「OFF（警告を表示しない）」に設定されています。警告機能を使用する場合は「On」に変更してください。
◎低血糖レベルは 60mg/dL ～ 80mg/dL で設定できます。

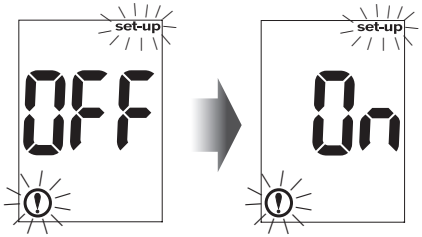
⚠ 低血糖レベルは主治医の先生とご相談の上、決めてください。

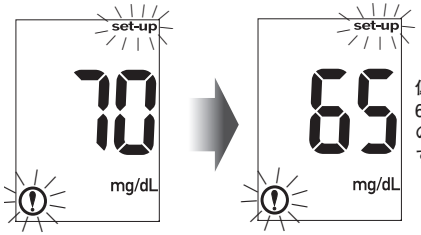
低血糖レベルの設定



❶ 電源が切れていることを確認し、電源ボタンを押します。日付・時刻と試験紙マークが画面に表示されたら、続けて電源ボタンを 4 秒以上押します。

時間と「set-up」が点滅表示されます。





低血糖レベルは60mg/dL～80mg/dLの範囲で設定できます。

2

画面に「⓪」マーク、「OFF」と点滅した「set-up」が表示されるまで電源ボタンを複数回押します。◀ ボタン又は▶ ボタンを押して、「On」を選択します。電源ボタンを押して確定します。

3

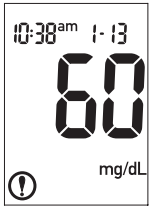
画面に「⓪」マークと「70mg/dL」（初めてご使用の場合）が表示されます。◀▶ ボタンで低血糖警告レベルを設定します。電源ボタンを押して確定します。

※例では、65mg/dL に設定しています。

電源ボタンを 4 秒以上押し続け、試験紙マークが表示されたらもう一度電源ボタンを押してください。電源が切れます。

低血糖警告（ⓘ）の設定

低血糖警告例



低血糖レベルを 65mg/dL 以上で
設定していた場合

測定結果が設定しておいた低血糖レベルよりも低かった場合、
音（ピピッ）が鳴って、画面に「ⓘ」マークが点滅します。
「ⓘ」マークは測定結果と一緒に測定器に記録されます。

⚠ コントロール液「アキュチェックアビバ精度管理キット」での測定結果には、「ⓘ」マークは表示されません。

＊（食後／イベント）マーク

本測定器には、測定結果に「＊」をつけて、他の測定結果と区別させることができる機能があります。食後、イベント時（運動後など）の測定結果につけて、通常の測定結果との違いを確認するときなどに活用できます。

＊マークの設定

＊が表示されます

血糖測定を行い、測定結果が表示されたら、◀ボタン又は▶ボタンを１回押します。測定結果の下に「＊」が表示されます。

ワンポイント

◎「＊」はあとから測定結果を確認するときにも表示されます。
◎「＊」を設定するときは、◀ボタン又は▶ボタンを１回だけ押してください（消したいときはもう１回押してください）。

メモ

保守・点検

ここでは、測定器と穿刺器具を良好な状態に保つために、覚えていただきたいことをご説明します。

保守（お手入れ）

測定器のクリーニング―――― P.69

穿刺器具のクリーニング―――― P.70

点検（精度チェック）

コントロール液を用いた点検―――― P.71

ご不明な点がございましたら、右記「ロシュにハロー お客様センター」までお問い合わせください。

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー

0120-642-860

24時間365日

保守（お手入れ）

測定器のクリーニング

測定器が血液などで汚れた場合は洗剤などで湿らせた布で軽く拭いてください。

ご使用可能の洗剤

- 70%イソプロピルアルコール（別名：イソプロパノール）溶液
- 水で薄めた食器用洗剤
- 10%家庭用漂白溶液（漂白剤と水を 1 対 10 で薄めてください。作りおきはしないで、その日のうちにご使用ください。）

⚠ 上記以外の洗剤等は使用しないでください。測定器や画面を傷つける恐れがあります。

ワンポイント

製品の良好な状態を保つため、普段から気をつけていただくこと。
◎測定器に埃が入らないように気をつけてください。
◎コードキー差込口や試験紙差込口に液体が入らないようにしてください。
◎消毒液や洗剤を直接測定器に吹きかけないでください。
◎液体に浸さないでください。測定器は防水加工されていません。

穿刺器具のクリーニング

製品の良好な状態を保つため、定期的なクリーニング（週１回程度）をお勧めします。本品が血液で汚れたときは、必ずクリーニングを行ってください。

ご使用可能の洗剤

● 70%イソプロピルアルコール（別名：イソプロパノール）溶液

穿刺器具本体

洗剤を湿らせた柔らかい布などを使用して外側を拭いてください。

ファストクリックス、ソフトクリックスプラス（黒）をご使用の場合

本体キャップ

コットンなどを使用して、外側と内側を拭いてください。クリーニングのあと、完全に乾いたのを確認してからご使用ください。

⚠ 穿刺器具本体は絶対に液体に浸さないでください。また、上記以外の洗剤等は使用しないでください。洗剤によっては、製品の品質を傷つける恐れがあります。

点検(精度チェック)

コントロール液「アキュチェックアビバ精度管理キット」を用いた点検

測定器の適正使用のため、以下の場合には精度チェックを行ってください。

こんなときに

- ●測定器、又は試験紙が正常に機能していないと感じるとき
- ●測定器を落としたとき（強い衝撃を与えたとき）
- ●測定結果が自覚症状と異なるとき
- ●しばらく測定器を使用しなかった場合（再使用する前に必ず測定器が正常かつ安全に作動するかご確認ください）

用意するもの

アキュチェックアビバ（測定器）

アキュチェックアビバストリップＦ
（試験紙）

アキュチェックアビバ精度管理キット（専用コントロール液・別売）
・コントロール１液（低濃度）
・コントロール２液（高濃度）

⚠ コントロール液の使用期限は外箱に記載されています。
開封後の使用期限は３ヵ月です。
（開封時に日付を記載されることをお勧めします。）

精度チェックの行い方

1

電源が切れていることを確認し、試験紙を測定器に差し込みます。

2

コントロール液ボトルのキャップを外し、ボトルの先端部をティッシュペーパーなどでふきます。

使用するコントロール液の順番は、1液2液のどちらから使用しても構いません。

点検(精度チェック)

コントロール液（アキュチェックアビバ精度管理キット）を用いた点検

※記載はコントロール１液で測定した例です。

3

ボトルの先端部を試験紙の血液吸引部につけてください。必要量が吸引されたら、測定が開始されます。

ボトルの先端部をティッシュペーパーでふいてからキャップをしっかりと閉めてください。

4

測定が終了すると、画面に測定結果、Ⓒ、「L ー」が表示されます。試験紙を差し込んだまま、次の操作を行ってください。

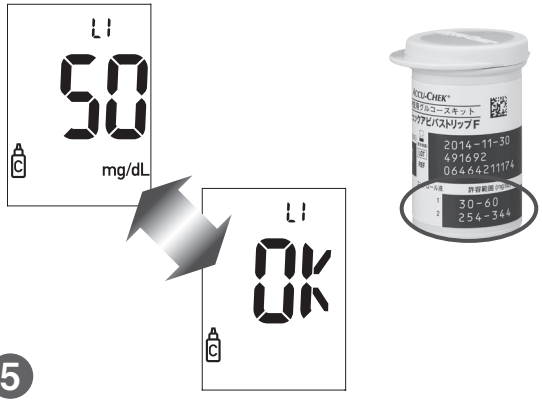
1 液を使用した場合

▶ ボタンを１回押してください。「L ー 1」が表示されます。

2 液を使用した場合

▶ ボタンを２回押してください。「L ー 2」が表示されます。

画面表示を確認して、電源ボタンを押して確定させます。



5

測定結果がコントロール値の許容範囲内にある場合は、「OK」と測定結果が交互に表示されます。測定結果がコントロール値の許容範囲外の場合は、「Err」と測定結果が交互に表示されます。

試験紙を引き抜いて廃棄します。電源ボタンを押して電源を切ります。

※コントロール値の許容範囲は、試験紙容器のラベルに記載されています。

エラーが表示されたら、以下のことをご確認ください。

- 1液（L1）又は2液（L2）の登録は正しく行いましたか？使用したコントロール液の登録を間違えた場合は、測定結果を容器ラベルに記載のコントロール液許容範囲と比較してください。使用したコントロール液の許容範囲内であれば、精度チェックは正しく行われています。
- コントロール液と試験紙の使用期限が過ぎていませんか？
- コントロール液のボトルキャップを外したまま長時間放置していませんでしたか？
- 試験紙を容器から取り出した後、長時間放置していませんでしたか？

⚠ 上記のことを確認しても結果が範囲外のときは、「ロシュにハローお客様センター」にご連絡ください。

ワンポイント

◎精度チェックの測定結果は、平均値などには反映されません。

電池の交換

測定器には、工場出荷時に電池がセットされています。電池が切れて交換する際には、以下の手順で交換を行ってください。

なお、納品時にセットされている電池は試用です。測定器の機能を確認するため工場出荷時にセットされたものであり、新品で使用する電池と同様の寿命を保証するものではありません。

ワンポイント

◎電池マークが表示されたら、電池の交換時期です。

◎電池が消耗してくると、画面に電池マークが表示されます。早めに電池を交換してください。
◎電源ボタンを押しても何も表示されない場合は、電池が切れている場合があります。

電池の交換

1

電池を交換するときは、裏面の電池ボックスカバーのつまみを矢印の方向に押して、上に持ち上げてカバーを開けます。

2

古い電池を取り出し、新しい電池の＋（プラス）面を上にして入れてください。

カバーをカチッというまでしっかり閉めてください。

⚠ 電池を交換すると、次回電源を入れたときに自動的に日付・時刻の確認・設定画面になります。

詳細は日付・時刻の確認・設定をご参照ください。（P.54）

ワンポイント

◎ 72 時間以内に電池を交換すれば日付、時刻の再設定の必要はありません。

保管に関する事項

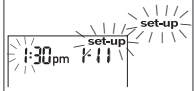
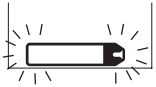
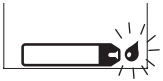
全般的な注意	
☞	**お子様の手の届かない場所に保管してください。** 電池、試験紙、ランセットなどは誤飲の恐れがあります。万一飲み込んだときは、すぐに医師へご相談ください。

自己検査用グルコース測定器（測定器）について	
☞	**高温多湿を避けて所定の保管条件に従って保管してください。** 正しい測定結果が得られなかったり、故障の原因となります。
⊗	**急激に温めたり、冷やしたりしないでください。** 熱を発生する機器の上に放置したり、冷蔵庫に保管した場合などには、正しい測定結果が得られなかったり、故障の原因となる恐れがあります。
⊗	**湿度の高い場所では保管しないでください。** 測定器内部に水滴が発生し、電源が入らなくなる恐れがあります。

自己検査用グルコースキット（試験紙）について	
☞	**未使用の試験紙は、専用の容器に入れたまま保管してください。** 変質の原因となる恐れがあります。
⊗	**凍結保存はしないでください。** 変質の原因となったり、容器から試験紙を取り出したときに温度差によって水滴がつく場合があり、誤った測定結果が出る原因となります。
☞	**高温多湿、直射日光を避けて室温で保存してください。**
⊗	**容器の中にほかの乾燥剤や異物を入れないでください。**

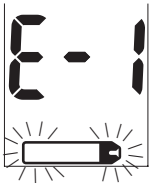
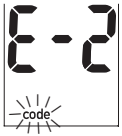
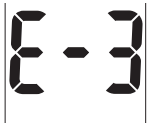
採血用穿刺器具（穿刺器具）・単回使用自動ランセット（ランセット）について	
☞	**高温・多湿を避けて保管してください。**

画面メッセージと対処方法

番号	表示	原因と対応	参照
1	測定器の電源が入らない　又は画面になにも表示されない	電池が切れています。 ー新しい電池に交換してください。 画面が故障しています。 ーロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。 測定器が故障しています。 ーロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。 周囲の気温が高すぎるか、低すぎます。 ー適度な気温の場所に移動してください。	P.75 P.8
2	 “set-up”が表示される	設定モードです。 ー各種の設定作業が行えます。 ー画面を終了したい場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して、画面に試験紙マークが出たら再度電源ボタンを押してください。	P.54
3	 試験紙マークが表示される	測定器の準備が整っています。 ー測定を行う場合は試験紙を差し込んでください。	P.26
4	 試験紙マークと血液マークが表示される	測定の準備が整っています。 ー血液又はコントロール液を試験紙につけてください。	P.26

番号	表示	原因と対応	参照
5	HI “HI”が表示される	測定結果が 600mg/dL を超えています。 ーすみやかに医師の指示に従ってください。 ⚠ 測定結果がおおよそ 2,000mg/dL を上回った場合には「E-3」と表示される可能性があります。	P.29
6	LO “LO”が表示される	測定結果が 10mg/dL を下回っています。 ーすみやかに医師の指示に従ってください。	P.29
7	60 mg/dL 測定結果と一緒に “ ⓘ ”が表示される	測定結果が、設定した低血糖レベルを下回っています。	P.65
8	--- code “---”と“code”が 表示される	コードキーが差し込まれていません。 ー測定器の電源を切り、コードキーを再度差し込んでください。	P.24

画面メッセージと対処方法

番号	表示	原因と対応	参照
9	 “E-1”と試験紙マークが表示される	試験紙に問題が起きました。 ー新しい試験紙をご使用ください。 試験紙の差し込み方が間違っています。 ー試験紙の差し込み方向を確認して入れ直してください。 上記のことを確認してもメッセージが表示される場合は、ロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。 ⚠ 試験紙が湿気やアルコール等を吸い込んだり、試験紙の金属部分に傷ができること等により、試験紙に問題が起きます。	P.26 P.20
10	 “E-2”と“code”が表示される	間違ったコードキーが差し込まれています。 ー「111」と書かれたコードキーが差し込まれていることをご確認ください。 ⚠ 間違ったコードキーとはアキュチェックアビバのものではないか、異なった種類の試験紙のコードキーを指します。	P.24
11	 “E-3”が表示される	測定中にエラーが発生しました。 ー新しい試験紙で測定し直してください。 血糖値が 2,000mg/dL を超えている疑いがあります。 ーすみやかに医師の指示に従ってください。 ⚠ この表示が示された場合、機器・試験紙の問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判別できませんのでご注意ください。	P.39

番号	表示	原因と対応	参照
12	 “E-4”と血液マークが表示される	血液又はコントロール液の量が少なすぎました。 測定が開始された後に血液又はコントロール液がつけられました。 **ー新しい試験紙で測定し直してください。** ⚠ ゴマ粒大の血液を出して試験紙の先端から、黄色の血液吸引部が血液で赤く満たされるまで血液を吸引させてください。	P.39
13	 “E-5”と“code exp”が表示される	間違ったコードキーが差し込まれています。 **ー「111」と書かれたコードキーが差し込まれていることをご確認ください。** ⚠ 間違ったコードキーとはアキュチェックアビバのものではないか、異なった種類の試験紙のコードキーを指します。	P.24 P.54
14	 “E-6”と試験紙マークと血液マークが表示される	血液又はコントロール液をつけるのが早すぎました（血液マークが画面に表示される前に血液又はコントロール液をつけました）。 **ー新しい試験紙で測定し直してください。** ⚠ 画面に試験紙マークと血液マークが表示されるのを確認してから測定を行ってください。	P.26
15	 “E-7”が表示される	電子回路のエラーが発生しました。 **ー測定器の電源を一旦切って、入れ直してください。** **ー電池を取り出して電源ボタンを２秒以上長押しし、電池を入れ直してください。** 上記のことを行っても同じメッセージが表示される場合は、ロシュにハローお客様センターへお問い合わせください。 ⚠ 電池を入れ直すと、電源を入れたときに日付・時刻の確認・設定画面が表示されます。	ー

画面メッセージと対処方法

番号	表示	原因と対応	参照
16	 “E-8”と温度計マークが表示される	気温が測定器の許容範囲外です。 ー測定器と試験紙（容器に入れたまま）を許容範囲内の温度の場所に移動させ、しばらく置いた後もう一度測定をしてください。 測定器を人為的に温めたり冷やしたりしないでください。 それでも測定ができない場合は、電池を取り出して電源ボタンを２秒以上長押しし、電池を入れ直してください。	P.8
17	 電池マークが表示される	電池が切れかけています。 ーすぐに電池を交換してください。	P.75
18	 “E-9”と電池マークが表示される	電池切れです。 ーすぐに電池を交換してください。 低温の環境下で電池が冷えてしまい、測定できなくなっている可能性があります。 ー測定器と試験紙（容器に入れたまま）を暖かい場所に移動させ、しばらく置いた後もう一度測定をしてください。 それでも測定ができない場合は、電池を取り出して電源ボタンを２秒以上長押しし、電池を入れ直してください。	P.75
19	 “E10”が表示され、日付・時刻が点滅する	時刻と日付の設定が正しくない可能性があります。 ー時刻と日付が正しいかご確認ください。必要であれば調整ください。 ⚠ 電池の交換の間に 72 時間以上経過してしまった場合や内蔵電池が正しく機能していない場合などには、時刻・日付の情報が正確に記憶されていないためにこの表示が表れます。	P.54

仕様

アキュチェックアビバ
高度管理医療機器、特定保守管理医療機器

寸法	94 × 53 × 22mm
重量	約 60g（電池を含む）
電源	3V リチウム電池（CR2032 型）1 個
電圧	3V
電撃に対する保護の形式	内部電源機器
電池寿命	約 1,000 回
必要検体量	全血 0.6μL
測定時間	約 5 秒
測定範囲	10 ～ 600mg/dL
Ht 値許容範囲	10 ～ 65%
記録容量	最大 500 回分（自動記録）、過去 7 日間、14 日間、30 日間の平均値
測定結果	血漿グルコース値に換算して表示
使用目的	全血中のグルコース測定
測定原理	キノプロテイングルコースデヒドロゲナーゼ（変異型）酵素電極法
使用環境条件	温度：8 ～ 44℃

測定器には、工場出荷時に電池がセットされています。
納品時にセットされている電池は試用のための電池です。測定器の機能を確認するため工場出荷時にセットされたものであり、新品で使用する電池と同様の寿命を保証するものではありません。
※製品の仕様及び外観は、改良などのため予告なく変更することがあります。

チェックリスト

「おかしいな」と思ったら

繰り返しエラーメッセージが表示されたり、測定結果がおかしいと感じたら、まず下記のことをご確認ください。

- **指示通りに測定を行いましたか？**
- **使用環境条件を守っていますか？**
- **電池は切れていませんか？正しく入っていますか？**
- **試験紙の使用期限は過ぎていませんか？**

上記のことを確認してもエラーメッセージが表示されたり、
測定結果がおかしいと感じたら、
「ロシュにハローお客様センター」へお問い合わせください。

保証書

製品名	アキュチェック アビバ
シリアル番号	
保証期間	ご購入日又はご入手日 年　　月　　日　より 3年間

ご購入後、故障が生じた場合3年間に限り、保証書によって製品の交換をさせていただきます。ご購入又はご入手日をご記入の上、保証書を保管ください。
ただし、次のような場合は保証期間内でも有償となります。

1. 使用上の誤り、不当な修理により生じた故障、損傷。
2. 火災、地震などの天災・地災による故障、損傷。
3. ご購入後の移動、輸送などによる故障、損傷。
4. その他当社の責によらない故障、損傷。

＊保証書は、日本国内においてのみ有効です。
＊保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。

お問い合わせは下記の「ロシュにハロー お客様センター」へ

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー
0120-642-860
24時間365日

Roche

ロシュDCジャパン株式会社

ACCU-CHEKはRocheの商標です。

切り取り線

0 6748295 001-D